

2021

会 告

No.12

◇通知・案内事項

- 2022・2023 年度会長候補者選挙結果のお知らせ……………本号 5 ページ
 ○第 87 年会「一般研究発表(口頭・ポスター)」講演申込締切のお知らせ……………本号 5 ページ

◇本部・支部大会行事の開催予定

	(2021)	(2022)
◇年会		3/16～18(神戸大学)
◇秋季大会		9/14～16(信州大学)
◇支部大会	12/14～15(関西大会 オンライン)	
◇学生発表会		3/5(オンライン)

◇本部・各支部・部会行事 (「ゴシック」は新規掲載分および修正分)

行事プログラムの掲載は 1 回限りです。既載行事はカレンダー会告ページ(または各支部ホームページ)をご参照下さい。

開催年月日	行 事	申込締切	会 告 ページ
12 月 December			
2	第 9 回三重コロキウム(オンライン)		11 号 12
2～3	オンライン版「プロセス設計」講座 化工物性、蒸留計算 編(オンライン)		10 号 11
6	令和 3 年度山形化学工学懇話会技術講演会(オンライン)	12 月 3 日(金)	11 号 10
7	シンポジウム「次世代半導体の展望 ～原理と製造技術～」(オンライン)		10 号 12
7～8	2021 年度粉体技術者養成講座 第 5 回【集じん】(愛知県)		6 号 9
9	岡山地区化学工学懇話会 化学工学基礎講習会(応用編)(岡山県/オンライン)		11 号 13
14～15	化学工学会関西大会 2021 講演・参加募集案内(オンライン)		10 号 16
15～16	第 55 回 化学工学の進歩講習会「脱炭素への工学」(愛知県)		10 号 14
16	第 18 回材料セミナー「産業用ボイラ設備の管理の基礎と技術動向」(オンライン)		11 号 11
16	第 31 回化学工学一関セミナー(岩手県)	12 月 10 日(金)	11 号 10
16～17	第 27 回流動化・粒子プロセッシングシンポジウム (FB27)・ 第 16 回反応装置・プロセスシンポジウム(オンライン)		10 号 12
2022 年 1 月 January			
12	近化電池セミナー「資源と耐久性からみたリチウムイオン電池の課題」(オンライン)		本号 8
14	オンライン版「プロセス設計」講座 プロセス基本制御と PFD 作成 編(1/14, 1/17PM) (オンライン)	1 月 7 日(金)	11 号 9
14	第 14 回機能性微粒子分科会セミナー(オンライン)	1 月 7 日(金)	本号 7
18	53 回 Continuing Education シリーズ講習会 「低炭素社会実現に向けた CO ₂ 回収・利用・貯留(CCUS)技術と社会実装」 (東京都/オンライン)		11 号 11
18	反応分離シンポジウム 2021(オンライン)	1 月 14 日(金)	本号 7
18	マイクロプロセス最前線シリーズ「新しいマイクロリアクター・マイクロデバイスの展望」 (オンライン)		本号 8
20	第 9 回「若手研究者・技術者を対象とした見学講演会および交流会」(オンライン)	1 月 6 日(木)	本号 7
21	第 24 回「企業と大学・高専の人材育成懇談会」(福岡県)	12 月 10 日(金)	11 号 13
26	クローズアップシリーズ 2021「カーボンニュートラル～各社の取り組み状況」 (ハイブリッド・東京都)		本号 8
27	オンライン版「P&ID の作り方」講座(1/27, 28, 2/4, 7, 8)(オンライン及び東京都)	1 月 20 日(木) 9:00	本号 5
28	第 34 回 CES21 オンライン講演会「次世代エネルギーデバイスにおける化学工学の貢献」 (オンライン)		本号 9

2022年2月 February			
3～4	2021年度粉体技術者養成講座 第6回【ろ過】(大阪府)		6号9
24	オンライン版「プロセス設計」講座 化工物性、蒸留計算 編 第2回(2/24, 25, 28) (オンライン版)	2月18日(金) 9:00	本号6
24～25	2021年度粉体技術者養成講座 第7回【粉碎】(大阪府)		6号9
2022年3月 March			
2	最近の化学工学講習会70「進化するファインバブル技術と応用展開」(3/2, 3/7) (オンライン)		11号12
5	第24回化学工学会学生発表会(オンライン)	12月10日(金)	11号8
16～18	化学工学会第87年会(兵庫県)	12月22日(水)	本号5
2022年9月 September			
14～16	化学工学会第53回秋季大会(長野県)		

◇国際交流行事

会 期	行 事 名	申込締切	会告ページ
12月5～8日 (暫定)	26th International Symposium on Chemical Reaction Engineering (ISCRE26) (New Delhi, India)		
2022年3月16～18日	International Chemical Engineering Symposia 2022 (ICHES 2022)	12月22日(水)	本号5
2022年6月19～23日	11th World Congress of Chemical Engineering-WCCE11 (Buenos Aires, Argentina)		
2022年6月19～23日	The 14th International Symposium on Process Systems Engineering プロセスシステム工学国際会議2021(PSE 2021+) (京都府)		6号8
2022年8月中旬で 調整中	19th Asian Pacific Confederation of Chemical Engineering (APCChE) Congress (Kuala Lumpur, Malaysia)		

◇共 催・協 賛 行 事(本カレンダーのみのご案内です。詳細は各問合せ先へ直接ご照会下さい。「ゴシック」は新規掲載分)

行 事(場 所)	開催期日	問合せ先	電話番号(FAX) E-mail, URL
女子大学院生・ポスドクのための産総研所内紹介と在職 女性研究者との懇談会 Female Graduate Students Laboratory Tours and Round Table Talk with Women Researchers in AIST (オンライン)	11月26日～ 12月14日(金～火)	(国研)産業技術総 合 研 究 所 イ ノ ベーション人材部 ダイバーシティ推 進室	029-862-6419 diversity-event-office-ml@aist.go.jp https://unit.aist.go.jp/innhr/ diversity2020/ja/events/211126_event. html
The 9th International Symposium on Surface Science (ISSS-9) (香川県)	11月28日～ 12月2日(日～木)	日本表面真空学会	(03-3812-2897) iss9@jvss.jp http://www.jvss.jp/iss9
第35回分子シミュレーション討論会(岡山県)	11月29日～ 12月1日(月～水)	分子シミュレー ション学会	086-251-7904 (086-251-7853) koga@okayama-u.ac.jp http://sympo.mol-sim.jp/mssj35/
2021合同WEB討論会～第41回水素エネルギー協会大会、 2021HESS特別講演会、第45回電解技術討論会～ソーダ 工業技術討論会～(東京都/オンライン)	11月29日～ 12月10日(月～金)	(一社)水素エネ ルギー協会、(公社) 電気化学会 電解科 学技術委員会	secretary@hess.jp https://confit.atlas.jp/guide/event/ hesscsj2021/top
第29回秋季大会(オンライン)	11月30日～ 12月1日(火～水)	プラスチック成形 加工学会	03-5436-3822 (03-3779-9698) plakakou@sand.ocn.ne.jp https://www.jspp.or.jp/
第48回炭素材料学会年会(沖縄県)	12月1～3日 (水～金)	炭素材料学会	(03-5227-8632) tanso-desk@bunken.co.jp http://www.tanso.org/contents/event/ conf2021/index.html

【KISTEC教育講座】 研究者、技術者のための応用数学コース(オンライン)	12月1～9日 (水～木)	地方独立行政法人 神奈川県立産業技 術総合研究所	044-819-2033 (044-819-2097) manabi@kistec.jp https://www.kistec.jp/learn/researcher/applied-math/
第19回評価・診断に関するシンポジウム(オンライン)	12月2～3日 (木～金)	日本機械学会	03-4335-7622 dmc-support@jsme.or.jp https://www.jsme.or.jp/event/21-58/
第54回安全工学研究発表会(東京都／オンライン)	12月2～3日 (木～金)	安全工学会	03-6206-2840 (03-6206-2848) jsse-2004@nifty.com https://www.jsse.or.jp/multidatabases/multidatabase_contents/detail/1165/df9ff0e79b160585f2af040f87a089dc?frame_id=991
第37回ゼオライト研究発表会(オンライン)	12月2～3日 (木～金)	(一社)日本ゼオラ イト学会	046-841-3810 ext. 3587 (046-844-5901) knishi@nda.ac.jp https://jza-online.org/events
実力養成分離技術研修コース 吸着分離技術の基礎マスター－基礎理論から応用まで－ (オンライン)	12月3～4日 (金～土)	分離技術会	03-3945-4894 (03-3945-4894) seida@toyo.jp http://www.sspej.gr.jp/events/events/20211203.html
第41回レオロジー講座－基礎と測定法－(京都府)	12月6～7日 (月～火)	日本レオロジー学 会	075-315-8687 office@srj.or.jp https://www.srj.or.jp/
International Symposium on Catalysis and Fine Chemicals (C&FC2021)(東京都)	12月6～10日 (月～金)	触媒学会 ファイン ケミカルズ合成触 媒研究会	06-6850-6260 mizugaki@cheng.es.osaka-u.ac.jp
Salt & Seawater Science Seminar 2021(神奈川県)	12月8日(水)	(公財)塩事業セン ター 海水総合研 究所	0465-47-3161 (0465-48-6242) kouenkai@shiojigyo.or.jp https://www.shiojigyo.com/institute/event/ssss/
2021年度計算力学技術者資格認定試験1・2級 (全国指定会場)	12月9～16日 (木～木)	一般社団法人日本 機械学会	03-4335-7616 caenintei@jsme.or.jp https://www.jsme.or.jp/cee/
2021年度第2回静電気学会講習会 「静電気災害の実例と対策～基礎・計測・除電技術、液体 災害、粉体災害、リスクアセスメント～」(オンライン)	12月14日(火)	静電気学会	03-3815-4171 (03-3868-3339) iesj@iesj.org http://iesj.org/
第35回数値流体力学シンポジウム(宮城県)	12月14～16日 (火～木)	日本流体力学会	cf35-admin@grp.tohoku.ac.jp http://www2.nagare.or.jp/cfd/cfd35/
第30回微粒化シンポジウム(オンライン)	12月16～17日 (木～金)	日本液体微粒化学 会	06-6466-1588 (06-6463-2522) information_atmz@ilass-japan.gr.jp https://www.ilass-japan.gr.jp/
食品ハイドロコロイドセミナー2021, 第32回食品ハイドロコロイドシンポジウム (東京都／オンライン同時開催)	12月17～18日 (金～土)	食品ハイドロコロ イド研究会	03-5463-0581 (03-5463-0581) sympo@food.hydrocolloids.org http://food.hydrocolloids.org/sympo
(一社)日本高圧力技術協会 オンライン技術セミナー 「高圧水素基礎講座－安全な機器運用のために－」 (オンライン)	12月21日(火)	(一社)日本高圧力 技術協会	03-3516-2270 tanaka@hpij.org http://www.hpij.org/murpqoy8h-178/#
第18回ノートパソコンで出来る原子レベルのシミュレ ーション入門講習会(京都府およびオンライン)	12月22～23日 (水～木)	日本材料学会	075-761-5321 (075-761-5325) jimu@office.jsms.jp https://jsms.jp/
第5回 東日本キャタリシスセミナー(オンライン)	12月24日(金)	触媒学会	055-254-7140 (055-254-7140) tmiyao@yamanashi.ac.jp https://fc-nano.yamanashi.ac.jp/

第17回バイオマス科学会議(オンライン)	2022年1月19～20日(水～木)	日本エネルギー学会	03-3834-6456 (03-3834-6458) tsunasawa_jie1921@jie.or.jp https://www.jie.or.jp/publics/index/810/
第33回高分子ゲル研究討論会(東京都)	2022年1月20～21日(木～金)	高分子学会高分子ゲル研究会	03-3554-3771 (03-3554-3737) resg1@spsj.or.jp https://member.spsj.or.jp/event/
自律分散システムシンポジウム2022(オンライン)	2022年1月21～22日(金～土)	計測自動制御学会システム・情報部門	03-3292-0314 (03-3292-3145) bumon@sice.or.jp https://sites.google.com/sice-das.org/das34th/
27回高専シンポジウム(オンライン)	2022年1月22日(土)	高専シンポジウム協議会	0859-24-5160 (0859-24-5009) jimu@kosensympo.onmicrosoft.com https://kosen-sympo.org/27th/
第38回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス(未定(オンラインを含め検討中))	2022年1月25～26日(火～水)	一般社団法人エネルギー・資源学会	06-6446-0537 (06-6446-0559) okabe@jsr.gr.jp https://www.jsr.gr.jp/
第16回再生可能エネルギー世界展示会&フォーラム(東京都)	2022年1月26～28日(水～金)	再生可能エネルギー協議会	03-5294-3888 (03-5294-0909) icouncil@renewableenergy.jp https://www.renewableenergy.jp/2022/jp/
表面科学技術研究会2022「炭素材料の新展開ー表面で造る・表面を造る・表面を使うー」(大阪府/オンライン)	2022年1月27日(木)	表面技術協会関西支部・日本表面真空学会関西支部	075-781-1107 kansai-office@sfsj.or.jp http://www.sssj.org/Kansai/goudou22127.html
炭素材料学会1月セミナー「炭素材料源としてのバイオマスー循環型社会を目指した資源の利活用ー」(オンライン)	2022年1月28日(金)	炭素材料学会	03-6824-9376 (03-5227-8631) tanso-koshukai@bunken.co.jp http://www.tanso.org/contents/event/seminar/january_2022.html
第14回先進プラズマ科学と窒化物及びナノ材料への応用に関する国際シンポジウム/第15回プラズマナノ科学技術国際会議 (ISPlasma2022/IC-PLANTS2022)(愛知県)	2022年3月6～10日(日～木)	公益社団法人応用物理学会	052-581-3241 (052-581-5585) isplasma2022@intergroup.co.jp http://www.isplasma.jp/
The 7th International Conference on Jets, Wakes and Separated Flows(オンライン)	2022年3月15～17日(火～木)	The 7th International Conference on Jets, Wakes and Separated Flows 実行委員会	03-3259-0750 (03-3293-8254) kimura.motoaki@nihon-u.ac.jp http://www.mech.cst.nihon-u.ac.jp/ICJWSF2022/
第34回バイオエンジニアリング講演会(福岡県)	2022年6月25～26日(土～日)	一般社団法人日本機械学会	03-4335-7610 bioconf22@jsme.or.jp https://www.jsme.or.jp/conference/bioconf22/index.html
第59回アイソトープ・放射線研究発表会(東京都)	2022年7月6～8日(水～金)	(公社)日本アイソトープ協会	03-5395-8081 (03-5395-8053) happyokai@jrias.or.jp https://www.jrias.or.jp/seminar/cat11/
The 7th International Conference on the Characterization and Control of Interfaces for High Quality Advanced Materials (ICCCI2022)(山梨県)	2022年11月15～18日(火～金)	粉体工学会	045-339-3959 (045-339-3957) iccci2022@ynu.ac.jp http://ceramics.ynu.ac.jp/iccci2022/

2022・2023年度会長候補者選挙結果のお知らせ

会長候補者選定委員会

2021年9月15日～10月4日に行われました、2022・2023年度会長候補者選挙は、候補者1名のため、信任投票が行われ、その結果、早稲田大学の 松方正彦 氏が、会長候補者として信任され、会長候補者選定委員会より理事会に報告されました。

第87年会「一般研究発表(口頭・ポスター)」講演申込締切のお知らせ

講演申込締切: 2021年12月22日(水)23:59

大会webサイトからのお申し込みに限ります。

<http://www3.scej.org/meeting/87a/>

講演要旨原稿提出期間: 2022年1月5日(水)～2月16日(水)23:59 必着

ポスター原稿提出期間: 2022年1月5日(水)～3月10日(木)23:59 必着
(ポスター発表のみ)

開 催: 2022年3月16日(水)～18日(金)

会 場: 神戸大学 鶴甲第1キャンパス

ただし、一部セッションで双方向ライブ配信を併用したオンライン・オンサイト併用開催の予定。

(詳細は10月号会告を参照ください。)

○発表形式(口頭、ポスター)について

学生会員・海外学生会員はポスターセッションで発表していただきます。ただし、学生会員・海外学生会員のうち、博士課程(但し前期課程を除く)学生に限りポスター発表と口頭発表を選択できます。講演申込においてご注意ください。なお、正会員、教育会員、海外正会員、海外連携会員、法人会員(維持会員、特別会員、特別地区会員)に属する社員の方は、口頭発表、ポスター発表のいずれにもお申込みいただけます。

なお、本大会のポスターはオンライン掲示となりますので、ポスター発表者はA0横1枚のポスターを3月10日(木)までにPDFファイルで提

出いただきます。詳しくは大会webサイトでご確認ください。

○口頭発表時の投影物およびポスターでの使用言語について

本大会では、学術発表の口頭発表時の投影物およびポスターでの使用言語を原則として英語とします。ただし対象外となるシンポジウム/セッションがありますので、詳しくは大会webサイトでご確認ください。

詳細は、大会webサイト (<http://www3.scej.org/meeting/87a/>) をご参照ください。

併催のIChES 2022の講演申込も同じく12月22日(水)に締め切ります。

詳細は、IChES 2022サイト (<http://scej.org/iches2022/>) をご参照ください。

問合せ先

化学工学会第87年会実行委員会

E-mail: inquiry-87a@www3.scej.org

人材育成センター

オンライン版
「P&IDの作り方」講座

主催 化学工学会人材育成センター継続教育委員会

日時(オンライン開催時) 2022年1月27日(木)、
28日(金)、2月7日(月)、8日(火)

(対面開催時) 2022年2月4日(金) [オプション]

会場(対面開催時) 化学工学会会議室
東京メトロ丸の内線茗荷谷駅【東京駅より
11分】下車徒歩1分

対象 以下の何れかに該当される方

- ・P&IDを読む、あるいは作成する必要がある人
- ・プロセス設計技術者、プロジェクトエンジニアなど(3～5年程度の実務経験者)
- ・「プロセス設計」講座各編 修了者
- ・「プラント計装制御-I」講座 修了者

講習目標 P&IDを取り扱う初心者を対象に、
P&IDに使用される機器、配管、計装関連の記

号とその意味、配管関係、計装関係、機器周りのまわりのP&IDとその作成方法等を、部分から全体へ、事例と実習を活用しながら学習していただきます。さら更に、オプションのP&ID作成実習では、実際のプラントの実例に則してP&IDの作成実習を行います。

受講のメリット

- (1) 複雑に見えるP&IDに何が書いてあるかわかるようになります。
- (2) P&IDに書かれていることの理由を理解できるようになります。
- (3) P&ID作成のノウハウを習得できます。
- (4) 本講座では事前アンケート及びオリエンテーション(1月20日)を実施し、受講者の経験や受講目的などを把握し、講義の参考と致します。
- (5) 修了レポートにより、理解度を更に深められます。
- (6) オプションのP&ID作成実習では、PFDからP&IDを書く演習を通して、自分でP&IDを描くことができます。

講座内容

本講座では、P&ID作成実習以外の講義を

Microsoft Teamsを利用したオンラインで、また、P&ID作成実習(オプション)を対面で、以下のスケジュールで計5回にわたり開催致します。

オンライン講義では、一方通行にならないような工夫を凝らして講義してゆく予定です。また、化学工学会会議室で実施する場合には、ソーシャルディスタンスの確保やマスクの着用と体温測定など、以下URLに記した新型コロナウイルス感染症対策を行い、開催致します。

なお、以下URLに記した注意事項に同意いただけない場合は、ご参加をお断りさせていただきます。

オンライン開催時の注意事項

http://scej.kktcs.co.jp/jinzai/seminar/seminar_SCEJ_jinzai_ONLINE.pdf

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策

http://scej.kktcs.co.jp/jinzai/seminar/seminar_07_COVID19.pdf

オリエンテーション: 1月20日(木)11:00～12:00

接続負荷のチェックを兼ねて実施します。講義当日と同じパソコン・通信環境（カメラ付PC必須）で参加下さい。

第1日：1月27日(木)13:00～16:30

MS Teams 三枝氏

1. P&IDとは
2. P&IDの読み方
3. 配管関係のP&ID表示

第2日：1月28日(金)13:00～16:30

MS Teams 小山氏

4. 計装関連のP&ID表示
5. 機器まわりのP&ID表示

第3日【オプション】：2月4日(金)9:30～17:30

於：化学工学会会議室 千馬氏、岡島氏

6. P&ID作成実習
蒸留塔を例にとり、PFDからP&IDを作成する演習
扱う物質が固結性物質とスラリー流体の場合のP&ID作成演習

※**第3日目のみ対面開催（10名限定）**となります。「緊急事態宣言」等が発令された場合には、本実習を中止し、オンラインで予定している4日間のみ開催になる場合があります。

※シャープペンと消しゴムをご用意下さい。

第4日：2月7日(月)13:00～16:30 MS Teams

7. P&ID作成実習解説 浅田氏

第5日：2月8日(火)13:00～16:30 MS Teams

8. 運転とP&ID 日比野氏

講師 千代田化工建設（株）、東洋エンジニアリング（株）、日揮（株）の経験豊富なエンジニア 三枝 悠氏（千代田化工建設（株）技術本部 インテグリティマネジメント部P&ID設計セクション）

小山武志氏（日揮グローバル（株）エンジニアリングソリューションズセンター プロセスエンジニアリング部）

千馬克己氏（テックプロジェクトサービス（株）設計統括本部）

岡島 聡氏（東洋エンジニアリング（株）エンジニアリング・技術統括本部 次世代技術開拓部）

浅田茂豊氏（千代田化工建設（株）技術本部 インテグリティマネジメント部P&ID設計セクション）

日比野毅氏（日揮グローバル（株）エネルギーソリューションズ エネルギートランジション本部 スタートアップ&オペレーションサービス部）

受講証明書 出席基準を満たす受講者には、最終日に受講証明書を発行致します。

修了証 本講座では修了レポートを実施します。合格ラインに達した方には修了証を授与致します。（詳細は4号会告5ページ参照）

継続教育ポイント 2日コースの方は受講証明書で20 pt付与、更に修了証で10 pt加算します。

3日コースの方は受講証明書で30 pt付与、更に修了証で15 p加算します。（詳細は4号会告5ページ参照）

募集定員 20名／但し、オプション（第3日目）は10名限定（定員になり次第締切）

受付締切 1月20日(木)9:00

受講料（消費税10%込）

（2日間）個人正会員：44,000円（本体40,000円）

（2日間）維持会員／特別会員の社員：

55,000円（本体50,000円）

（2日間）地区会員の社員：

66,000円（本体60,000円）

（2日間）会員外：77,000円（本体70,000円）

【3日間】個人正会員：

66,000円（本体60,000円）

【3日間】維持会員／特別会員の社員：

82,500円（本体75,000円）

【3日間】地区会員の社員：

99,000円（本体90,000円）

【3日間】会員外：115,500円（本体105,000円）

申込方法 化学工学会ホームページ右上の“各種申込”の“講習会申込”と巡って頂くか、下記URLをブラウザに直接入力して頂き、該当する講座を選択してお申込み下さい。

<https://service.kktcs.co.jp/srms2/c/scej/event/EventList.htm>

問い合わせ先

公益社団法人化学工学会 人材育成センター「継続教育」事務局

〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19

E-mail：jinzai-seminar“アットマーク”scej.org

TEL：03-3943-3527 FAX：03-3943-3530

オンライン版「プロセス設計」講座 化工物性、蒸留計算 編(第2回)

主催 化学工学会人材育成センター継続教育委員会

日時（オンライン開催時）2022年2月24日(木)、25日(金)

（対面開催時）2022年2月28日(月)【オプション】

会場（対面開催時）化学工学会会議室

東京メトロ丸ノ内線茗荷谷駅【東京駅より11分】下車徒歩1分

対象 以下の何れかに該当される方

- ・化工物性、蒸留計算の基本を学びたい方
- ・シミュレータの蒸留計算の原理を知りたい方
- ・化学・石油精製プラントなどに関連のあるエンジニア（2～10年程度の経験者）
- ・「プロセス設計」講座 各編 修了者／受講予定者

講習目標

本講座では、物性及び物性推算について理解を深めた後、蒸留の基本である気液平衡について学び、理想系、非理想系の気液平衡計算の手法を、演習を通して理解していただきます。そして、2成分系、多成分系、特殊な蒸留など蒸留塔の設計に必要な蒸留計算について、演習問題を手計算で解きながら学んでいただきます。

また、オプション（2月28日）のプロセスシミュレータ演習（PRO/Ⅱ）では、手計算の例題をシミュレータで解いてみることで、手計算の精度の確認や、シミュレータの利便性などを知るところを重視し、学んでいただきます。

受講のメリット

- （1）プロセス設計に使用する化工物性を理解できます。
- （2）気液平衡について基礎、非理想系の気液平衡、これらの推算式を理解できます。
- （3）2成分系の蒸留計算、多成分系の蒸留計算の原理を理解できるようになります。
- （4）本講座では事前アンケート及びオリエンテーション（2月18日）を実施し、受講者の経験や受講目的などを把握し、講義の参考と致します。
- （5）修了レポートにより、理解度を更に深められます。
- （6）オプションのシミュレータ演習を併せて受講することで、蒸留計算におけるシミュレータのブラックボックスの中身を理解できます。

講座内容

本講座では、PRO/Ⅱ演習以外の講義をMicrosoft Teamsを利用したオンラインで、また、PRO/Ⅱ演習（オプション）を対面で、以下のスケジュールで計3日に亘り開催致します。

オンライン開催になりますが、目安として講義60分につき休憩10分程度を取りながら、一方通行にならないような工夫を凝らして講義して

ゆく予定です。また、化学工学会会議室で実施する場合には、ソーシャルディスタンスの確保やマスクの着用と体温測定など、以下URLに記した新型コロナウイルス感染症対策を行い、開催致します。

なお、以下URLに記した注意事項に同意いただけない場合は、ご参加をお断りさせていただきます。

オンライン開催時の注意事項

http://scej.kktcs.co.jp/jinzai/seminar/seminar_SCEJ_jinzai_ONLINE.pdf

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対策

http://scej.kktcs.co.jp/jinzai/seminar/seminar_07_COVID19.pdf

オリエンテーション：2月18日(金)13:10～13:40（最大でも14:00）

接続負荷のチェックを兼ねて実施します。講義当日と同じパソコン・通信環境（カメラ付PC必須）で参加下さい。

※受講の際にはExcel（ゴールシーク、ソルバー機能）を使えるパソコンで受講して下さい。

※オプションのシミュレータ演習受講者【3日目対面開催】には、PRO/Ⅱをインストールされたパソコンをご用意致します。

第1日：2月24日(木)9:30～17:10

1. プロセス設計と物性値
2. 気液平衡

第2日：2月25日(金)9:30～17:10

3. 2成分系の蒸留計算
4. 多成分系の蒸留と特殊な蒸留

第3日【オプション】：2月28日(月)9:30～17:00

5. シミュレータ（PRO/Ⅱ）による蒸留計算演習

※**第3日目のみ対面開催**となります。「緊急事態宣言」等が発令された場合には、本実習を中止し、オンラインで予定している2日間のみ開催になる場合があります。

既に2日間コースを受講済みの方は、3日目のPRO/Ⅱ演習（オプション）のみを受講することも可能です。

講師 経験豊富なエンジニア

澤井直明氏（日揮グローバル（株）エンジニアリングソリューションズセンター プロセスエンジニアリング部）

受講証明書 出席基準を満たす受講者には、最終日に受講証明書を発行致します。

修了証 本講座では修了レポートを実施します。合格ラインに達した方には修了証を授与致します。（詳細は4号会告5ページ参照）

継続教育ポイント 2日コースの方は受講証明書で20 pt付与、更に修了証で10 pt加算します。3日コースの方は受講証明書で30 pt付与、更に修了証で15 pt加算します。（詳細は4号会告5ページ参照）

募集定員 10名 6名に達しない場合は、開催中止となることがございます。

受付締切 2月18日(金)9:00

受講料（消費税10%込）：

（2日間）個人正会員＜**技士基礎割***>

22,000円（本体20,000円）

（2日間）個人正会員 44,000円（本体40,000円）

（2日間）維持会員／特別会員の社員

55,000円（本体50,000円）

（2日間）地区会員の社員

66,000円（本体60,000円）

（2日間）会員外 77,000円（本体70,000円）

【3日間】個人正会員＜技士基礎割***>**

38,500円（本体35,000円）

【3日間】個人正会員 71,500円（本体65,000円）

【3日間】維持会員／特別会員の社員

88,000円（本体80,000円）

【3日間】地区会員の社員

104,500円(本体95,000円)
【3日間】会員外 121,000円(本体110,000円)
 ＊**技士基礎割**は、以下の条件を満たす方が対象となります。
 1. 化学工学技士(基礎)資格に関する手続きを完了していること。
 2. 正会員であること。(事前に自らの会員情報を確認、更新して下さい)

3. 卒業または修了後5年以内の社会人であること。
申込方法 化学工学会ホームページ右上の「各種申込」の「講習会申込」と巡っていただくか、下記URLをブラウザに直接入力していただき、該当する講座を選択してお申込み下さい。
<https://service.kktcs.co.jp/smms2/c/scej/event/EventList.htm>

問い合わせ先

公益社団法人化学工学会 人材育成センター
 「継続教育」事務局
 〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19
 E-mail: jinzai-seminar“アットマーク”scej.org
 TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530

12/6～8に開催を予定していた「反応器の設計」講座は、都合により中止させて頂きました。

部 会 C T

第14回 機能性微粒子分科会
セミナー

主催 機能性微粒子分科会
 共催 化学工学会 材料・界面部会

日時 2022年1月14日(金)13:00～16:40
 形式 オンライン(Zoom)

機能性微粒子分科会ではこれまでに13回のセミナーを開催し、種々分野の研究者および技術者の方々と間で情報交換をさせていただきました。機能性微粒子等に関心のある方、これから研究開発を試みようとしている方などが気軽に参加して、情報交換を行うことが本会の目的です。今回はオンライン(Zoom)での開催を計画しております。是非ご参加ください。

プログラム

12:00～ ZOOM接続
 13:00～13:05 開会挨拶
 13:05～13:55 「微粒子のナノサイズ化と中空化」
 名古屋大学 山本徹也 氏
 13:55～14:45 「気相中での微粒子のナノ構造化と機能」
 広島大学 萩 崇 氏
 休憩(10分)
 14:55～15:45 「マイクロフロー空間における逐次的な相分離現象を利用した多層マイクロカプセルの創製」
 岡山大学 渡邊貴一 氏
 15:45～16:35 「気相中でのバイオインスパイアードなミカプセル作製法」
 鹿児島大学 武井孝行 氏
 16:35～16:40 閉会挨拶

参加費 無料

申込み締切 2022年1月7日(金)17:00

申込み先

以下のURLからお申し込みください。
<https://forms.gle/tRtbrhNefs77qzQ66>

問い合わせ先

機能性微粒子分科会事務局 武井孝行
 E-mail: takei@cen.kagoshima-u.ac.jp
 TEL&FAX: 099-285-3283

化学工学会 反応工学部会
反応分離分科会
「反応分離シンポジウム2021」

主催 化学工学会反応工学部会「反応分離分科会」
 協賛 化学工学会分離プロセス部会「膜工学分科会」、日本ゼオライト学会

日時 2022年1月18日(火)16:00～17:40
 会場 Zoom オンライン会場 (参加申込者に別途アクセスURLをご案内致します。)
 全ての発表の録画、録音、配布資料の無断での転載、複写、第三者への提供を禁止致します。

反応と分離それぞれの要素技術が高度化しプロセスの効率化が進んだ現在では、反応と分離の二つを有機的に結合させ、更なる高効率(省エネルギー)化およびコンパクト化を目指した反応分離プロセスの開発が必要となってきます。今年度のシンポジウムは、ゼオライトのミクロな構造と触媒活性・膜分離特性を中心に、一線で活躍される研究者をお招きしました。反応・分離の様々なプロセス・現象を活発に議論できる場になればと考えておりますので、ぜひ多くの方にご参加いただけることを願っております。

プログラム

講演会(16:00～17:40)
 16:00～16:05 主催者挨拶
 大阪大学 西山憲和 氏
 16:05～16:50 「ゼオライトの骨格内Al原子の位置制御と触媒特性」
 東京工業大学 横井俊之 氏
 16:50～17:35 「ゼオライト膜の微細構造と透過分離特性」
 早稲田大学 酒井 求 氏
 17:35～17:40 閉会挨拶

＊今年度は技術交流会を開催致しません。

参加費

化学工学会と協賛団体の個人・法人会員：無料
 学生：無料
 その他：2,000円
 参加費は2022年1月14日(金)までに下記の銀行口座にお振込み下さい。(振込手数料については参加者にてご負担願います。)
 常陽銀行 つくば並木支店(普通)1432316
 口座名義：化学工学会反応分離分科会 会計原伸生

問合せ先 反応分離分科会事務局・廣田雄一郎(名古屋工業大学)

E-mail: hirota.yuichiro@nitech.ac.jp

申込方法および申込先

下記HPよりお申し込み下さい。締切は2022年1月14日(金)とさせていただきます。
<https://forms.gle/q11dCs6HJAjShAxL6>
 ＊ご所属先のセキュリティ等によりお申し込みが難しい際は、下記までお申し込み下さい。
 分科会事務局・廣田雄一郎(名古屋工業大学)

第9回「若手研究者・技術者を対象とした見学講演会および交流会」

主催 化学工学会粒子・流体プロセス部会
 共催 化学工学会関西支部
 協賛 化学工学会男女共同参画委員会

本交流会は、若手研究者および技術者の育成を図るために、企業で活躍中の若手・女性技術者と直接交流することによって、男女を問わず卒業後のキャリアパスに対するイメージアップを図ることを目的としています。また、企業の若手・女性研究者相互の対話を通じて本分野の研究・開発の活性化と育成を支援する企画です。

今回は、オンラインでの見学講演会を実施します。セルロースなどの化学品メーカーである(株)ダイセル、合成繊維や樹脂などの基礎素材メーカーである東レ(株)、洗剤や化粧品などの化学品メーカーである花王(株)の世界トップレベルの「モノづくり」をオンラインで見学いただきます。多くの若手/女性技術者の方のご参加をお待ちしております。

日時 2022年1月20日(木)13:00～17:30

開催方法 Zoomによるオンライン【一切の録音・録画・撮影を禁じます。】

プログラム

12:30 Zoomへの入室開始
 1. 開演の挨拶 13:00～13:10
 粒子流体プロセス部会 会長/岡山理科大学工学部 桑本堅也 教授
 2. 基調講演 13:10～13:55
 「フローリアクターへの応用を目指したスラグ流の解析」
 慶応義塾大学理工学部 藤岡沙都子 氏
 3. オンライン工場見学&講演会 14:05～16:30
 (タイトル及び講演者は仮)
 14:05～14:50
 「ダイセル会社概要と環境に優しく触感の良い化粧品用途酢酸セルロース微粒子の開発」
 (株)ダイセル ヘルスケアSBU事業推進室 研究開発グループ 小林慧子 氏
 14:55～15:40
 「東レグループのサステナビリティ・ビジョン」
 東レ(株)技術センター 主幹 竹田多完 氏

15:45～16:30

「花王 ESG (Kirei Lifestyle Plan) と製品ライフサイクルでの環境に配慮した取組み」

花王(株)加工・プロセス開発研究所
主席研究員 西村 徹氏

4. 講演者別フリーディスカッション 16:40～17:20

Zoom ブレイクアウトルームを設定致しますので、お好きなセッションへ自由にご参加ください。

5. 閉演の挨拶 17:20～17:30

粒子流体プロセス部会 副部会長／
慶応義塾大学理工学部 寺坂宏一 教授

対象 若手PD, 博士課程学生, 修士, 学部学生,
企業に入社数年の若手研究者および技術者
定員 100名程度(* Zoomの仕様要確認)
尚, 見学会と同業の方のご参加はご遠慮いた
ださたく、お願い申し上げます。

参加費 講演会 無料

参加申込 1月6日(木)までに、お名前、勤務先、
所属部署、連絡先(所在地, Tel, Fax, E-mail)

交流会出席の有無を、下記へE-mailでお送り
ください。

参加される方は、必ず、各々申し込みにだけま
すようお願いいたします。Zoomへの接続情報
は開催日の1週間ほど前にご登録のメールア
ドレス宛に送信します

問合せ先 公益社団法人 化学工学会

若手・女性育成プロジェクト事務局 伊奈智秀
E-mail: tm_ina@jp.daicel.com

TEL: 079-274-4063 FAX: 079-274-4106

地 域 C T



関 東 支 部

クローズアップシリーズ2021 「カーボンニュートラル ～各社の取組み状況」

主催 (公社)化学工学会関東支部

京都議定書、パリ協定、ごく最近では菅首相
による2050年までにカーボンニュートラル化達
成の宣言、気候変動サミットでのバイデン首相
によるGHG(温室効果ガス)を2030年までに半減
とする表明など、世界中で環境問題に関する意
識は高まっており、これを受けて、我々製造業
界も環境問題に関する取り組みが以前にも増し
て加速してきている状況にあります。この環境
問題への取り組みは各社で様々であり、また自
社だけでなく共同の取り組みも積極的に行われ
ているようです。

そこで今回のクローズアップシリーズでは、
各業界、具体的にはエネルギー、ガス、エンジ
ニアリング、化学、重工工業界を代表する企業
様から、各社で行われている環境問題に関する
取り組みを講演して頂く運びとなりました。環
境問題に対する考え方や技術開発の方向性な
ど、皆様の今後の環境問題への取り組みの参考
になれば幸いです。

日時 2022年1月26日(水)13:00～17:25

会場 早稲田大学 西早稲田キャンパス内 55号
館 1F 大会議室
+オンライン配信(ハイブリッド講演会)

プログラム(時間・演題・講師)

<開会の辞>(13:00～13:05)

13:00～13:05 (公社)化学工学会 関東支部 第2
企画委員会

出光興産(株) 金子安延
<講演>(13:05～17:20)

13:05～13:45 脱炭素社会実現に向けた ENEOS
中央技術研究所の取り組み

(ENEOS(株)) 中山慶祐氏

13:45～14:25 メタネーション技術を用いた都
市ガスのカーボンニュートラル化への取組み

(大阪ガス(株)) 栗原洋介氏

14:25～15:05 水素社会実現に向けて 川崎重工
の取り組み

(川崎重工業(株))小森千絵氏
<休憩 15:05～15:20>

15:20～16:00 三菱ケミカルのサーキュラーエ
コノミーに向けた取り組み

(三菱ケミカル(株)) 櫻井愛子氏
16:00～16:40 カーボンニュートラル達成に向

けた旭化成の取り組み

(旭化成(株)) 開澤香澄氏
16:40～17:20 サステナビリティに貢献する日
揮グループの取り組み

(日揮ホールディングス(株)) 近松伸康氏
<閉会の辞>(17:20～17:25)

17:20～17:25 (公社)化学工学会 関東支部 第2
企画委員長挨拶

(住友ベークライト(株)) 前田治彦氏
<名刺交換会>(17:25～18:00)

17:25～18:00 講演者・会場参加者の名刺交換
会(会場参加者のみ)

募集人員 150名(現地参加50名、オンライン
100名)

参加費 懇親会 無、消費税とテキスト代(現地
参加:冊子とPDFファイル、オンライン参加:
PDFファイル)

正会員:9,000円 法人会員社員:11,000円

学生会員:2,000円 会員外:15,000円

サロンメンバー:5,000円

申込方法

WebまたはE-mailあるいはFAXにてお申し込
みください。

① Webでの申し込み

関東支部HP (<http://www.scej-kt.org/>)の次回
行事開催のご案内から「クローズアップシ
リーズ2021」をクリック後、「参加申込フォーム」
をクリックするとフォームのウィンドウが開
きますので、必要事項を記入の上、ご送信く
ださい。

② E-mailでの申し込み・FAXでの申し込み

下記項目を記載してinfo@scej-kt.orgまでお
送りください。

参加者氏名、会社・学校名、所属部署・学
部学科、郵便番号、住所、電話番号、FAX番号、
E-mailアドレス、会員資格、参加費請求書送
付の必要の有無、参加方法(会場 or オンライン)

お問い合わせ・お申し込み

(公社)化学工学会関東支部 事務局

TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530

E-mail: info@scej-kt.org



関 西 支 部

近化電池セミナー 「資源と耐久性からみた リチウムイオン電池の課題」

主催 近畿化学協会

共催 化学工学会関西支部

日時 2022年1月12日(水)10:00～17:00

開催手段 オンライン(Zoomによるライブ配信)

プログラム

1. リチウム市場環境と当社の動脈・静脈事業
(豊田通商)片山昌治氏

2. リチウムイオン電池のリサイクル技術
(早大理工/東大院工)所 千晴氏

3. 非鉄金属の資源循環とリサイクル～リチウム
などの資源の状況と問題点・ボトルネック～
(東大生産技術研)岡部 徹氏

4. 充電曲線解析技術(CCA)を用いたリチウムイ
オン電池の劣化評価

(東芝)森田朋和氏

5. 電力系統連系用途のリチウムイオン電池の劣
化と評価

(電力中央研究所)三田裕一氏
(長岡技術大工)梅田 実氏

参加費 主催団体会員 18,000円、共催団体会員
25,000円、会員外 30,000円、大学・官公庁職
員 7,000円、学生 5,000円

定員 80名(定員になり次第締切)

参加申込方法 近化電池セミナーのHP (<https://kinka.or.jp/event/2022/r3cell.html>) からお申込み
ください。参加費は、銀行振込(三井住友銀行
備後町支店 普通預金No.1329441 一般社団法人
近畿化学協会)をご利用ください。(振込手数料
は参加者でご負担願います)

(注意事項)

※オンライン配信ツールは「Zoom」を利用しま
す。

※参加登録をいただいた方には、12月下旬頃
に参加証とWEB配信の聴講方法について
E-mailでお知らせします。

※1つのアカウントで、複数名での聴講は禁
止します。

※パソコン・タブレット等、聴講(受信)に必
要な機材や設備は各自でご準備ください。

※講演資料の録画・録音は固く禁止します。

申込先 一般社団法人近畿化学協会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科
学技術センター6階

TEL: 06-6441-5531 FAX: 06-6443-6685

E-mail: seminar@kinka.or.jp

マイクロプロセス最前線シリーズ 【オンライン配信】 ～新しいマイクロリアクター・ マイクロデバイスの展望～

主催 化学工学会関西支部
協賛 近畿化学協会、日本化学会近畿支部、有機合成化学協会関西支部、ほか

日時 2022年1月18日(火)11:00～17:15

開催形式 オンライン配信

プログラム

1. マイクロ化学プロセス用新規連続抽出分離デバイスの研究開発(11:00～12:00)
(大阪大院工) 武藤明徳氏
2. フローマイクロリアクター研究が導く高速合成化学(13:00～14:00)
(京大院工) 永木愛一郎氏
3. マイクロ流体デバイスを用いた微粒子材料の調製・分離技術の開発(14:00～15:00)
(千葉大院工) 山田真澄氏
4. マイクロ分析技術と欧米の動向 (15:15～16:15)
(メトラ・トレド) 山崎陽一氏
5. 新規マイクロミキサーを利用した革新的微細乳化技術の開発と実用化(16:15～17:15)
(花王) 高木道哉氏

申込締切 定員(80名)になり次第締切

参加費 化学工学会・協賛団体個人正会員 19,000円、化学工学会法人会員・協賛団体法人会員所属 23,000円、大学・公設機関 7,000円、学生会員 3,000円、会員外 37,000円、会員外学生 5,000円(何れも消費税・要旨代含)

申込方法 Web上参加申込フォーム(<https://www.kansai-scej.org/form/view.php?id=35552>)よりお申込みください。参加費は、銀行振込[りそな銀行御堂筋支店 普通預金No.0405228 名義公益社団法人化学工学会関西支部]をご利用ください。

※参加費は「主催・協賛団体の支部以外」にご所属の場合でも「主催・協賛団体」としてお

取扱いたします。

連絡事項

- ・オンライン配信ツールは「Zoom」を利用します。Zoomアプリのダウンロード、Webブラウザでご参加が可能です。Zoomのアカウントを作る必要はありません。
- ・本講演は全てライブ配信となりますので、開催日時のお間違いの無いようにご注意ください。
- ・参加申込をされた方には、1月12日頃にE-mailにてZoomの接続情報等を送付します。
- ・パソコン・タブレット等、聴講(受信)に必要な機材や設備は各自でご準備ください。
- ・発表者の許可の無い限り、受信資料の保存(録音・録画)、再配布は固く禁止します。

問合せ・申込先 (公社)化学工学会関西支部

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センター6階

TEL: 06-6441-5531

E-mail: apply@kansai-scej.org

<https://www.kansai-scej.org/>

第34回CES21 オンライン講演会 次世代エネルギーデバイスにおける 化学工学の貢献

主催 化学工学会関西支部CES21

協賛 化学工学会 反応工学部会、同 エネルギー部会、同 材料・界面部会、同 エレクトロニクス部会、近畿化学協会、日本化学会近畿支部、応用物理学会関西支部、電気化学会関西支部

日時 2022年1月28日(金)13:00～16:50

開催手段 オンライン(Zoomによるライブ配信)

プログラム

1. (仮) 太陽電池、燃料電池/水電解セルの概要と脱炭素エネルギーシステムにおける位置付け

(東工大物質理工)伊原 学氏
2. 化学工学を必要とする高効率・低コスト太陽電池の作製技術: ウェハ接合、薄膜転写、プラズモニクス、量子ドット

(京大院工)田辺克明氏
3. SOLiD-EV プロジェクトにおける全固体LIB製造プロセスの基盤技術開発

(LIBTEC)福岡 歩氏
4. 固体高分子形燃料電池の高性能化に向けた化学工学の貢献

(九大院工/NIMS)井上 元氏

定員 80名(定員になり次第締切)

参加費 主催・協賛団体会員 3,000円、会員外 5,000円(消費税、テキスト代含む)

申込方法 本講習会のHPよりお申込みください。もしくは、「第34回CES21 オンライン講演会申込」と題記し、(1)氏名、(2)勤務先(所属、役職)、(3)会員資格、(4)連絡先(〒、所在地、TEL、E-mail)、(5)送金予定日を明記の上、下記の申込先にE-mailでお申し込みください。参加費は銀行振込(りそな銀行御堂筋支店普通預金 No.0405228「公益社団法人化学工学会関西支部」名義)をご利用ください。

(注意事項)

※オンライン配信ツールは「Zoom」を利用します。

※講演要旨は、事前に郵送させていただきます。(講演会の1週間前)

※参加登録をいただいた方には、1月20日頃にWEB配信の聴講方法についてE-mailでお知らせします。

※パソコン・タブレット等、聴講(受信)に必要な機材や設備は各自でご準備ください。

※講演資料の録画・録音は固く禁止します。

申込・問合せ先

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センター6階

公益社団法人化学工学会関西支部

TEL: 06-6441-5531 FAX: 06-6443-6685

E-mail: apply@kansai-scej.org

求人

☆九州大学大学院工学研究院 機械工学部門 熱工学講座 教員(教授)公募☆

募集人員: 教授1名

専門分野: 熱工学(伝熱、熱物性、熱流体物理、熱物質移動、熱エネルギー利用など)

応募資格: 博士の学位を有し、大学院博士課程における教育および研究の指導能力があり、当該研究分野において優れた業績のある方。

応募締切: 2022年2月28日(月)必着

詳細情報: https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekJorDetail?fn=3&id=D121102341&ln_jor=0

問合せ先: 九州大学大学院工学研究院 機械工学部門 教授 森 昌司

TEL: 092-802-3121

E-mail: morisho@mech.kyushu-u.ac.jp

2022・2023年度代議員選挙のお願い

本会の定款第13・14・15条並びに代議員選挙規程により、2022・2023年度の代議員選挙を行いますので、下記注意事項をご一読の上、ご投票ください。(投票用紙は会告別表をご利用ください。)

2021年12月1日

公益社団法人 化学工学会
代議員選挙管理委員長 庄野 厚

(1)代議員数

184名

(2)投票締切日

2021年12月20日(月)(本会事務局必着)

(注意)締切日までに到着しない場合は、その投票は無効になります。

(3)投票用紙送付先

〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19 共立会館5F
化学工学会内 選挙管理委員会宛

(4)投票に対するご注意

- (イ) 投票は本号添付の所定投票用紙をご利用ください。(投票用紙以外の用紙は無効になります)
- (ロ) 投票は投票しない候補者の氏名の×印欄に×印を付して下さい。なお、投票されない方は候補者を信任されたものとみなします。
- (ハ) 送付封筒の表には必ず代議員投票と朱書きしてください。
- (ニ) 投票は連記無記名ですが、投票権有無の確認のため、送付封筒には住所氏名を明記してください。明記のないものは無効です。

(5)選挙結果

選挙結果は2022年4月1日当会HP並びに、化学工学誌4月号に掲載いたします。

〈定 款 抜 粋〉

- 第13条 本会に概ね正会員25人の中から1人の割合で代議員を置く。なお、端数の取り扱いについては理事会で定める。
- 第14条 代議員を選出するため、正会員による代議員選挙を行う。
- 第15条 代議員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。
2 補欠又は増員により選任する代議員の任期は、第1項の規程に関わらず、前任者又は現任者の残任期間とする。

〈代議員選挙規程抜粋〉

- 第2条 代議員数は、定款第13条に記載の範囲内において理事会が定める。
- 2 理事会は、代議員総数の60%を下回らない支部推薦代議員数を定める。
- 3 理事会は、代議員総数の20%を下回らない部会推薦代議員数を定める。
- 第3条 代議員選挙の業務を行う選挙管理委員会(以下「委員会」という)を設置する。
- 2 委員長及び委員は、選挙実施年度に理事に就任していない正会員(以下「非理事正会員」という)とする。
- 第5条 代議員候補者の推薦人は正会員、支部及び部会とし、それぞれ委員長に推薦することとする。
- 第7条 代議員の選出は、投票により行う。
- 2 投票権は、第4条の選挙公示月の前月末時点の非理事正会員1名につき1票とする。
- 3 投票は、候補者の中の不信任者に印をつけることにより行い、不信任票数が、2項の有権者総数の10分の1未満の者を当選者とする。
- 第8条 委員長は、選挙が適正に行われたことを会長及び監事に報告しなければならない。
- 2 委員長は、当選者を確定し、化学工学誌およびHPで公表する。

締切日：2021年12月20日(月)

送付先：〒112-0006 文京区小日向4-6-19 共立会館5F 化学工学会内 選挙管理委員会宛

別 表

投 票 用 紙

— (2022・2023年度代議員選挙) —

(注意) 投票しない候補者には、左空欄に×印をして下さい。(無記名)

推 薦 候 補 者			
×印欄	氏 名	所 属	推 薦
	相 田 真 男	出光興産(株)	支 部
	青 木 秀 之	東北大学	支 部
	赤 松 憲 樹	工学院大学	支 部
	天 野 佳 正	千葉大学	支 部
	天 野 寛 之	新東工業(株)	支 部
	井 内 謙 輔	安全事例研究所	部 会
	石 川 裕 幸	オルガノ(株)	支 部
	石 飛 修	住友化学(株)	正会員
	石 羽 恭	三菱ケミカル(株)	支 部
	井 嶋 博 之	九州大学	支 部
	市 川 秀 寿	三菱鉛筆(株)	支 部
	市 川 創 作	筑波大学	支 部
	市 村 重 俊	神奈川工科大学	支 部
	伊 藤 大 知	東京大学	支 部
	伊 奈 智 秀	(株)ダイセル	支 部
	猪 股 宏	東北大学	正会員
	岩 田 修 一	名古屋工業大学	支 部
	岩 本 光 生	大分大学	支 部
	上 宮 成 之	岐阜大学	支 部
	太 田 光 浩	徳島大学	支 部
	大 渡 啓 介	佐賀大学	部 会
	大 友 順一郎	東京工業大学	支 部
	大 場 茂 夫	(株)応用物性研究所	部 会
	大 庭 武 泰	神奈川工科大学	支 部
	大 村 恒 雄	東芝エネルギーシステムズ(株)	支 部
	岡 島 いづみ	静岡大学	部 会
	岡 野 泰 則	大阪大学	部 会
	小 川 勝 也	(株)トクヤマ	支 部
	萩 野 博 康	大阪府立大学	支 部
	小 野 努	岡山大学	正会員
	折 田 久 幸	(株)日立製作所	支 部
	片 岡 祥	産業技術総合研究所	支 部
	片 桐 誠 之	名城大学	部 会
	勝 尾 智 津	東亜合成(株)	支 部
	桂 進 司	群馬大学	支 部
	加 藤 貴 宏	秋田大学	支 部
	金 森 敏 幸	産業技術総合研究所	支 部
	神 谷 典 穂	九州大学	支 部
	川喜田 英 孝	佐賀大学	支 部
	川 島 行 雄	東洋インキSCホールディングス(株)	支 部
	蛙 石 健 一	千代田化工建設(株)	支 部

×印欄	氏 名	所 属	推 薦
	川 瀬 泰 人	リファインホールディングス(株)	支 部
	岸 本 啓	(株)神戸製鋼所	支 部
	衣 笠 巧	新居浜工業高等専門学校	支 部
	木 俣 光 正	山形大学	部 会
	木 村 勇 雄	新潟大学	支 部
	木 村 寛 恵	一関工業高等専門学校	支 部
	木 村 幸 敬	岡山大学	支 部
	菊 地 隆 司	東京大学	支 部
	草 川 拓 己	(株)ダイセル	支 部
	国 清 義 紀	JNC(株)	支 部
	栗 原 清 文	日本大学	支 部
	車 田 研 一	福島工業高等専門学校	支 部
	黒 沢 厚 志	エネルギー総合工学研究所	部 会
	孔 昌 一	静岡大学	支 部
	河 野 至 紀	JSR(株)	支 部
	小 嶋 保 彦	東洋エンジニアリング(株)	支 部
	児 玉 大 輔	日本大学	部 会
	後 藤 邦 彰	岡山大学	支 部
	後 藤 純 也	ENEOS(株)	支 部
	後 藤 宗 治	(独)国立高等専門学校機構	支 部
	小 西 正 朗	北見工業大学	支 部
	小 林 大 祐	東京電機大学	支 部
	小 林 正 樹	八戸工業大学	支 部
	菰 田 悦 之	神戸大学	部 会
	齋 藤 泰 洋	九州工業大学	支 部
	佐 伯 隆	山口大学	支 部
	酒 井 幹 夫	東京大学	部 会
	坂 倉 圭	出光興産(株)	部 会
	桜 井 誠	東京農工大学	支 部
	佐々木 満	熊本大学	支 部
	佐 藤 剛 史	宇都宮大学	部 会
	佐 藤 秀 樹	広栄化学(株)	支 部
	佐 藤 正 秀	宇都宮大学	支 部
	佐藤根 大 士	兵庫県立大学	支 部
	塩 井 章 久	同志社大学	支 部
	塩 尻 進	住友化学(株)	支 部
	重 光 英 之	(公社)化学工学会	正会員
	宍 戸 昌 広	山形大学	支 部
	澁 谷 真 史	東洋紡(株)	支 部
	島 田 直 樹	住友化学(株)	部 会
	清 水 一 憲	名古屋大学	部 会
	下 条 晃司郎	日本原子力研究開発機構	部 会
	城 田 猛	(株)シーエナジー	支 部
	菅 恵 嗣	東北大学	部 会
	杉 山 茂	徳島大学	部 会
	杉 山 弘 和	東京大学	部 会
	鈴 木 洋	神戸大学	部 会
	鷺 見 泰 弘	(株)カネカ	支 部
	仙 波 靖 英	ダイキン工業(株)	支 部
	園 部 浩 之	三菱重工業(株)	支 部

×印欄	氏 名	所 属	推 薦
	高 塚 佳代子	宮崎大学	部 会
	高 橋 伸 英	信州大学	部 会
	瀧 健太郎	金沢大学	支 部
	竹 内 善 幸	(一社)中国地域ニュービジネス協議会	支 部
	武 田 和 宏	静岡大学	部 会
	多 湖 輝 興	東京工業大学	部 会
	立 元 雄 治	静岡大学	部 会
	谷 口 貴 志	京都大学	部 会
	辻 佳 子	東京大学	正会員
	常 田 聡	早稲田大学	支 部
	寺 坂 宏 一	慶應義塾大学	支 部
	所 千 晴	早稲田大学	正会員
	中 井 智 司	広島大学	部 会
	長 尾 郁 也	出光興産(株)	支 部
	長 尾 大 輔	東北大学	部 会
	中 川 紳 好	群馬大学	部 会
	中 坂 佑 太	北海道大学	部 会
	長 澤 英 治	横河ソリューションサービス(株)	支 部
	中 嶋 進	アンシス・ジャパン(株)	支 部
	中 西 俊 成	木村化工機(株)	支 部
	中 原 光 一	サントリーグローバルイノベーションセンター(株)	部 会
	中 村 一 穂	横浜国立大学	支 部
	中 村 秀 美	奈良工業高等専門学校	支 部
	長 森 英 二	大阪工業大学	部 会
	成 田 弘 一	産業技術総合研究所	部 会
	成 瀬 一 郎	名古屋大学	支 部
	二 井 晋	鹿児島大学	部 会
	西 尾 拓	ライオン(株)	支 部
	西 村 顕	三重大学	部 会
	西 村 徹	花王(株)	支 部
	西 山 憲 和	大阪大学	支 部
	野 崎 泰 彦	ナイカイ塩業(株)	支 部
	野 田 優	早稲田大学	支 部
	野 田 直 希	(一財)電力中央研究所	支 部
	野 田 賢	福岡大学	支 部
	野 田 玲 治	群馬大学	部 会
	野 村 幹 弘	芝浦工業大学	部 会
	橋 爪 隆	綜研化学(株)	支 部
	花 田 茂 久	東レ(株)	支 部
	花 田 信 子	早稲田大学	支 部
	羽 深 等	横浜国立大学	部 会
	林 順 一	関西大学	支 部
	原 孝 佳	千葉大学	支 部
	春 木 将 司	金沢大学	部 会
	平 沢 泉	早稲田大学	支 部
	福 井 国 博	広島大学	支 部
	福 長 博	信州大学	支 部
	福 原 長 寿	静岡大学	部 会
	福 原 知 子	(地独)大阪産業技術研究所	支 部
	藤 岡 沙都子	慶應義塾大学	支 部

×印欄	氏 名	所 属	推 薦
	藤 川 宗 治	(株)タクマ	支 部
	伏 見 千 尋	東京農工大学 工学部	部 会
	船 越 邦 夫	鈴鹿工業高等専門学校	部 会
	古 屋 武	産業技術総合研究所	部 会
	細 野 恭 生	千代田化工建設(株)	支 部
	堀 内 淳 一	京都工芸繊維大学	支 部
	堀 江 正 信	京都大学	部 会
	本 間 俊 司	埼玉大学	支 部
	前 田 治 彦	住友ベークライト(株)	支 部
	松 岡 浩	帝京科学大学	支 部
	松 方 正 彦	早稲田大学	正会員
	松 隈 洋 介	福岡大学	支 部
	松 下 竜 二	住友化学(株)	支 部
	松 田 弘 幸	日本大学	支 部
	松 本 秀 行	東京工業大学	支 部
	松 本 陽 子	崇城大学	支 部
	三 友 信 夫	日本大学	部 会
	向 井 紳	北海道大学	支 部
	向 井 康 人	名古屋大学	支 部
	村 田 一 彦	大阪ガス(株)	支 部
	森 一	和歌山県工業技術センター	支 部
	森 嶋 誠	コスモ石油(株)	支 部
	守 谷 聡	東亜合成(株)	支 部
	矢 沢 勇 樹	千葉工業大学	支 部
	山 内 紀 子	茨城大学	部 会
	山 口 智 大	JSR(株)	支 部
	山 地 秀 樹	神戸大学	支 部
	山 下 善 之	東京農工大学	部 会
	山 野 範 子	大阪大学	部 会
	山 村 方 人	九州工業大学	部 会
	山 本 量 一	京都大学	支 部
	山 森 義 之	幹細胞評価基盤技術研究組合	支 部
	楊 英 男	筑波大学	支 部
	横 田 守 久	山口大学	支 部
	吉 川 史 郎	東京工業大学	支 部
	吉 川 知 沙	荒川化学工業(株)	支 部
	吉 田 裕	(株)日本触媒	支 部
	吉 田 昌 弘	鹿児島大学	部 会
	吉 見 靖 男	芝浦工業大学	支 部
	吉 宗 美 紀	産業技術総合研究所	部 会
	劉 醇 一	千葉大学	部 会
	若 林 讓	千代田化工建設(株)	支 部
	渡 邊 邦 夫	AGC(株)	支 部